

2026 年 8 月（第 1 版）

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 内視鏡・関節鏡用接続チューブ（JMDN：70267000）

再使用禁止

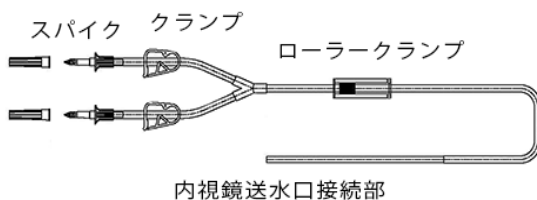
ヘイワ GFI システム用チュービングセット

【禁忌・禁止】

1. 内視鏡の送気口に接続禁止
2. 再使用禁止
3. 再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



2. 原材料

ポリ塩化ビニル

3. 原理

内視鏡に接続し、灌流液を供給する。

【使用目的又は効果】

内視鏡の送水口に接続して内視鏡の先端部より送水するために使用する。

【使用方法等】

本品は清潔に取扱い、スパイク及び接触部に直接手を触れないこと。

- 1) 本品を滅菌包装より取り出す。
- 2) すべての枝のクランプ及びローラー クランプを閉じる。
- 3) あらかじめ準備したヘイワ GFI システム（洗浄水加圧装置）に生理食塩水バッグ（以下水バッグと呼ぶ）を装着する。
- 4) スパイクのカバーを取り外し、水バッグの挿入部にスパイクを差し込む。
- 5) 回路内の空気を除去するため、水バッグを接続した方の枝のクランプ及びローラー クランプを開放し、チューブ内を生理食塩水で満たす。
- 6) 内視鏡への接続に関しては、送気口への誤接続を防ぐため、送水口であることを事前に確認する。
- 7) 図のように一度ローラー クランプを閉じてから内視鏡の送水口（口金）へ接続する。
オリンパス社、フジノン社以外の内視鏡についても、同様に送水口に接続する。
- 8) ローラー クランプを徐々に開けてください。チューブのはづれや液漏れがないことを確認する。
- 9) 内視鏡の送水機能を作動させ、チューブの外れ及び液漏れがなく、適切に送水されることを確認する。



【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 内視鏡の送水口に接続すること。
送気口に接続すると内視鏡のプロセッサ部分などに水が入り故障することがある。
- 2) スパイクに直接手を触れないこと。
- 3) スパイクを生理食塩水バッグの差込口に繰り返し刺さないこと。
- 4) チューブが折り曲がったり、ねじれた状態で使用しないこと。
- 5) 生理食塩水が飛び出す恐れがあるので、使用前にクランプが閉じていることを確認すること。

2. その他の注意

- 1) 使用前に、包装の汚れや破れていないか点検すること。
- 2) 本品に、汚れ・破損・変形等が無いが、使用前に点検すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 室温保管すること
2. 直射日光及び火気を避け、湿気の少ない場所に保存すること
3. 包装に、記載されている滅菌期限内に使用し、期限を過ぎたものは使用しないこと。
4. 滅菌有効期間は、製造年月より 3 年とする。（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社平和医療器械

山口県防府市戎町 2 丁目 4 番 37 号

TEL: 0835-22-3658 FAX: 0835-2-3678

製造業者

Ace Medical Corporation Ltd.（韓国）